

地域支援だより

きらりNet

平成26年5月24日

第42号

秋田県立秋田きらり支援学校
地域支援部

～情報のキャッチボールを！～

校長 進藤 忠雄

秋田きらり支援学校は、平成22年4月に開校し、今年度5年目を迎えました。4月9日の入学式で、小学部11名、中学部9名、高等部10名、計30名が新たに仲間入りし、107名で元気よくスタートを切りました。本校の子どもたちが大切にしている合い言葉「きらり☆スマイル！」で、今年度も元気いっぱい頑張りますので、応援をよろしくお願いいたします。

さて、このきらりネットも、開校以来定期的に発行し続け、今回で42号を数えるまでになりました。この間、とても多くの皆様にご覧いただき、様々なご感想やご意見、ご要望等をいただきました。本当にありがたいことです。まさに、情報のキャッチボールをたくさんの方々とできていることを実感しております。

これからも、皆様方からの声に丁寧に耳を傾けながら、きめ細かで最新の情報をタイムリーに発信してまいります。今年度も、本校のもっている肢体不自由教育に関するノウハウの積極的な提供に努めますので、本校のセンター的機能の活用も併せてよろしくお願いいたします。

～肢体不自由支援ガイドの御案内～

本校では、肢体不自由障害をもつ児童生徒への支援の手掛かりとして肢体不自由支援ガイドを編集し、本校ホームページから閲覧できるようになっています。内容は、いろいろな場面に合わせた児童生徒への支援方法や教材教具の工夫例、自立活動の指導例などとなっています。26年3月24日付けで最新版が更新されていますので、ぜひご覧ください。

医療機関との連携 ～病院への同行について～

児童生徒へのよりよい支援や指導につながるように、関係機関と学校とが連携を図ることはとても大切です。以前、リハビリテーションへの同行手順を紹介しましたが、今回は、研修会などでご質問のあった病院への同行について触れます。

①保護者の方の同意を得る（これは大前提となります）

②病院に依頼する
（保護者を通して連絡をとる方がスムーズです）

③同行（見学）



ポイント!

効果的な機会となるよう次の点に配慮します。

- ・保護者と日頃から医療機関についての共通理解に努める。
- ・聞きたいことは簡潔にまとめる。（できれば事前に病院へ伝える。）
- ・プライバシーに配慮する。（医療的な質問はデリケートなことが多いです。）
- ・記録を残し、関係のある人で情報を共有する。

～本校での同行例～

- ・手術後の経過説明や学校生活での配慮点の確認
- ・修学旅行に向けての日程への助言や移動中の姿勢への配慮などの確認
- ・医療的ケアに関する指示書の確認 など

※ リハビリテーションへの同行については、きらりネット32号をご覧ください。

秋田きらり支援学校に相談・見学の希望がありましたら、下記まで御連絡ください。

教頭 石川 純子 地域支援部 佐藤 忠浩

住所：〒010-1407 秋田市上北手百崎字諏訪ノ沢 3 番 127

E-mail：kirisien@akita-pref.ed.jp

電話：018（889）8573 FAX：018（889）8575

「きらり Net」は本校ホームページから閲覧することができます。

<http://www.kagayaki.akita-pref.ed.jp/kirari/index.html>

